



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-7045

担当者の所属・氏名 臨床検査科 市川奈央子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床検査科 市川奈央子

心臓超音波検査を受けられた方を対象とした

心機能計測項目に関する研究

1.研究の対象

2019年7月～2019年10月に当院で心臓超音波検査を受けられた方

2.研究の目的・方法

心臓超音波を実施する目的は心臓が正常に動いているか見ることです。その指標の一つとして収縮能（駆出率）があります。駆出率は正常・軽度異常・中等度異常・高度異常の4段階で評価しています。しかし、生まれつき心臓の構造に異常があり、複雑な形態をした心室に対する収縮能の計測項目は測定の上、駆出率の計測は使用不可のため面積変化率で評価を行っています。この面積変化率に関して、研究が少なくガイドラインに基準値の設定がされておらず、どの値が異常なのかが不明です。そのため、本研究で正常構造の心臓の駆出率と面積変化率の分布を調べ、重症度分類を作成することを計画しました。これにより、正常な心臓構造の人と同様に、生まれつき複雑な構造をした心臓の人でも重症度が判定できるようになります。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢 体表面積 等

《心臓超音波計測値》 左室拡張末期容積、左室収縮末期容積、
拡張末期面積、収縮末期面積、左室駆出率、面積比 等